

看護管理 第36巻第3号 (通巻403号) 2026年3月10日発行 (毎月1回10日発行) [ISSN 0917-1355 KANCONANRIN]

Japanese  
Journal of  
Nursing  
Administration

# 看護管理

2026  
3  
Vol.36 No.3

1冊まるごと  
特集!

現場発!

特集

## 継続的な 質改善をかなえる 組織づくり

患者中心の理念を基盤とする  
聖隷浜松病院のガバナンスとCQI活動

座談会

なぜいまCQI活動なのか  
患者中心の理念を基盤にする組織の  
自律的な質改善文化をひもとく

岡 俊明 / 岡村奈緒美 / 中村哲也 / 中村典子

看護管理  
まなびラボ

医学書院

1冊  
まるごと特集!

193

## 現場発! 継続的な質改善をかなえる 組織づくり

患者中心の理念を基盤とする  
聖隷浜松病院のガバナンスとCQI活動

聖隷浜松病院では、1997年に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審、2012年のJCI認証取得と5回の更新を通じて、組織的な質改善の取り組みを進めてきました。質改善を推進する大きな柱が、組織の経営方針として示されるBSC（バランスト・スコアカード）と、現場発の継続的質改善活動である「CQI（Continuous Quality Improvement）サークル」です。CQIサークルは、職員ひとりひとりが主体的に活動し、能力向上・自己実現を果たすために機能するとともに、対話を通じた学習の中で互いを尊重、称賛し、支援する組織文化の源になっています。職種を超えたチーム医療促進の基盤とも言えるでしょう。本特集では、看護部から始まったCQIサークル活動の意義と成果を、さまざまな角度から紹介します。

### PART1 | 【座談会】トップマネジメントが語る「CQI活動」の価値

聖隷浜松病院におけるCQIサークル活動の価値をトップマネジメントが語り、特集の全体像を提示します

196

#### なぜいまCQI活動なのか

患者中心の理念を基盤にする組織の自律的な質改善文化をひもとく | 岡 俊明 / 岡村奈緒美 / 中村哲也 / 中村典子

### PART2 | CQIサークルの歩みと組織的意義

看護部発のCQIサークル活動の歩みと意義を示し、BSCやJCI認証との関係性を解説します

204

#### 【特集に当たって】

#### 聖隷浜松病院におけるCQIの定義とBSCに基づく組織づくり

ひとりひとりが主体的に行動する質改善活動を目指して | 中村典子

212

#### 質改善のサイクルを楽しく回すQCサークルを導入・奨励した経緯と

背景をふりかえる 導入時の副院長兼総看護部長の立場から | 勝原裕美子

215

#### 看護部から展開した、病院全体で取り組む「CQIサークル」のはじまり | 奥田希世子

218

#### 医療の質向上に向けた組織文化としてのCQIサークル活動

病院長の立場から | 岡 俊明 / 総看護部長の立場から | 岡村奈緒美 / 事務局長の立場から | 中村哲也

224

#### 組織が示す方針と現場活動が循環的に連動する、 主体的な質改善の取り組み「CQIサークル活動」

患者経験(PX)と従業員経験(EX)を同時に高める組織的機能として | 内山 剛

### PART3 | QCサークル活動の歴史と意義

専門家の視点でQCサークルの沿革をたどり、医療機関が取り組む意義を提示します

232

#### QCサークル活動が医療にもたらす価値

ケアプロセスの継続的質改善と、人を育てる仕組み | 梶原千里

**PART4 | CQI サークル推進に向けた運営体制**

CQI サークル活動を支える推進委員会の立場から、学習会や日常活動の支援の実際を示します

- 238 円滑な CQI サークル活動を支える運営体制  
学習会・発表会の企画と、活動支援者の育成 | 藤本希望 / 高橋亜希子 / 守山貴宣 / 中村典子

**PART5 | 看護部の CQI サークル活動事例**

看護部が取り組む CQI サークルの活動事例を、QC 手法に沿って報告します

- 248 看護部が現場の自律的な改善活動として CQI サークル活動を活用する意義  
管理者が立案する小集団活動との違い | 中村典子
- 250 【整形外科病棟の取り組み】  
DPC に基づく入院期間の最適化に向け、患者ケア改善ができた  
CQI サークルの実践と成果 | 松下美緒
- 254 【小児病棟の取り組み】  
手術を受けることへの心理的準備をサポートする CQI サークル  
「せいいい きっずちゃんねる」の実践と成果 | 鈴木さと美
- 258 【外来の取り組み】  
資材請求業務の簡素化で外来の働きやすさを高める  
看護補助者による業務改善の実践と成果 | 大澤麻里奈 / 坂下千鶴
- 262 看護業務変革委員会活動における QC 手法を活かした  
職場業務改善の推進 学習・称賛・支援の文化を育む | 井口拓也 / 稲木美香 / 中村典子
- 266 継続的質改善「CQI サークル」が育む人材と組織文化  
看護の可視化(看護指標)と対話を土台に、学習・称賛・支援を循環させる | 岡村奈緒美

**PART6 | 他部門における CQI サークル活動事例**

多くの CQI サークルが活発に活動する放射線部の活動事例を、QC 手法に沿って報告します

- 268 部門横断で組織力を高める放射線部の CQI サークル活動  
安全文化とコミュニケーションを高め、人材育成につなげる | 栗田仁一 / 種石吉記
- 273 【コラム】医師の視点から | 裨里真也

**PART7 | 異業種との協働—院外発表を通じた製造業からの支援— 外部発表とネットワークの広がり**

異業種による支援で院内活動がさらに発展した経緯と、院外での発表の成果を共有します

- 274 製造業から始まった QC サークルの理念と実践を  
医療サービスにどう応用するか | 木原章夫
- 277 製造業から支援を受ける意義  
QC サークル活動のエキスパートから問題解決手法を学ぶ | 鈴木 緑  
支援を力に、県知事賞へつながった改善活動 | 水野章吾

**PART8 | 全体のふりかえり—ワーク・エンゲージメントの高い組織を目指して**

特集をふりかえり、さらにワーク・エンゲージメントの高い組織への発展を展望します

- 286 持続可能な CQI 文化をつくる  
新たな価値の創造を目指して | 浜野 孝 / 中村典子

\*3月号は特集を拡大したため、連載は全て休載とさせていただきます。ご了承ください。

- 285 年間購読のご案内  
291 今月の新刊紹介  
293 Information  
295 バックナンバーのご案内  
296 次号予告・編集後記  
表紙・本文デザイン  
デザインワークショップ

# なぜいま CQI 活動なのか

患者中心の理念を基盤にする組織の自律的な質改善文化をひもとく

## 出席者

社会福祉法人聖隷福祉事業団 理事  
社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院  
病院長  
日本病院会 副会長

岡 俊明氏

社会福祉法人聖隷福祉事業団 執行役員  
社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院  
総看護部長

岡村奈緒美氏

社会福祉法人聖隷福祉事業団 執行役員  
社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院  
事務局長

中村哲也氏

社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院  
看護部 次長/CQI 室 副室長 司会

中村典子氏

継続的な医療の質改善は、病院運営において不可欠な実践です。聖隷浜松病院では、1997年に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審して以来、2012年のJCI認証取得と5回の更新を通じて、組織的な質改善の取り組みを続けてきました。

特に、看護部から始まった「QC (Quality Control) サークル」活動は、患者中心の医療を目指した各部門の自発的な継続的質改善活動「CQI (Continuous Quality Improvement) サークル」へと発展。現在では病院全体の自律的な組織文化として定着し、多くの成果を上げています。サークル活動が13年目を迎えたいま、この活動の意義と発展、今後の展望について、活動を組織的価値として評価し、支援する聖隷浜松病院のトップマネジメントに語り合っていました。

